

高松小学校コミュニティ・スクール 高小コミスクだより

No.3 平成29年8月
かほく市立高松小学校
校長 喜多由紀
CN (コーディネーター)
楠 千恵



夏休みに入り、毎日暑い日が続いていますが、子どもたちは、様々な場所で元気に活動しています。一学期も、地域の皆様にはコミュニティ・スクールで、大変お世話になりました。6月以降の活動の一端をお知らせします。今後もどうぞご協力の程、お願い申し上げます。

第2回 学校運営協議会

6月29日に開かれた会では、今年度のコミュニティ・スクールプランについての、説明がありました。その後、4月からの取組の様子や今後の予定などの報告があり、今年度始められた看護大学との取組など、今年度の活動について、いろいろと話し合われました。



鶴彬学習会



6月29日、高松町で生まれ、川柳で反戦や平和の大切さを訴えた鶴彬さんの学習会がありました。岩手県在住の宇部功さんが、今年も6年生に鶴彬について講話してくださいました。戦争の時の状況や、鶴彬さんの生き方について教えていただき、子どもたちは、“家族が亡くなる悲しい戦争の怖さを覚えておいて、未来へと伝えたい”と、平和への願いを強くしたようでした。

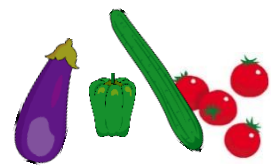


看護大学生とのボランティア活動

7月9日早朝、看護大学のボランティアサークルの学生6人と高松小学校のプログラム委員6人が、一緒にかほく市一斉海浜清掃に参加しました。保護者の方3人にも、参加していただきました。学生さんたちとのペアで協力しながら海岸の漂流物を集めました。短い時間でしたが、海岸の汚れをきれいにするのができて、爽やかな気持ちになれたそうです。



野菜パーティー



7月12日、2年生の野菜パーティーが開かれ、土の耕しや、苗植え指導をしてくださった森茂さん、桜井和幸さん、大徳真理子さんをお迎えしました。苗の様子や育ち方について、観察して発見したことや考えたことを発表して、聞いていただきました。栽培した野菜で、子どもたちが調理したピザやお漬け物などをみんなで美味しくいただきました。野菜が苦手な子も楽しく食べることができました。ゲストの方々へ上手く野菜が育ったことの感謝の言葉を伝えることができ、子どもたちはとても嬉しそうでした。



災害に備えての学習

7月13日、5年生の防災の授業が行なわれました。福井工業大学の竹田周平先生に、子どもたちは、日本は地震が多く、日頃から3日分の非常食を家庭で準備しておくことが大切であることなどを分かりやすくお話していただきました。最後に、大塚製菓さんのご協力もいただき、いろいろな味の非常食を食べ比べ、食べやすいものを選んでいました。



大学とかほく市と学校との連携での食育授業



7月14日、6年生が、看護大学の垣花渉先生とかほく市健康福祉課の能任佳織さんをゲストティーチャーに迎え、食育授業を行いました。子どもたちは、野菜をバランスよく摂ることが体に良いことを聞いた後、かほく市の「満菜弁当」を味わいました。“たくさん野菜が入っていて、色合いや堅さを考えて調理してあるのがいい”“地場産の食材を使っている”“バランスの良い食事を家でも作りたい”など

子どもたちは、健康な体作りのための食事がどうあるべきかを学ぶことができました。

地域交流マップ作り

7月23日、子ども会高松支部の5・6年生の子どもたちが、警察署員や見守り隊や保護者の皆様の協力の下、地域を実際に歩いて、危険な場所を防犯マップにする活動に参加しました。危険な場所を周知し、防犯意識の高揚につなげることができました。

高松中学校生の学習サポート

7月27日と28日の、4・5・6年生のサマースクールに、高松中学校3年生が、学習支援ボランティアとして参加してくれました。子どもたちは、わからないところなどを中学生に気軽に聞いて、教えてもらうことができました。